

第1回に続き、園芸家玉崎弘志先生をお迎えして妻沼勤労福祉会館にて「花とみどりの景観まちづくり」第2回ワークショップを開催しました。前回、旧坂田医院診療所の花壇を整備しましたのでその後の様子と「イチイの木」の剪定を行いました。いつも手入れを下さっている皆さんのおかげで、花たちもいきいきしていました。また、花に愛着を持てるようネームプレートをつけました。お近くにお越しの際は是非ご覧になってください。



イチイの剪定をしました。

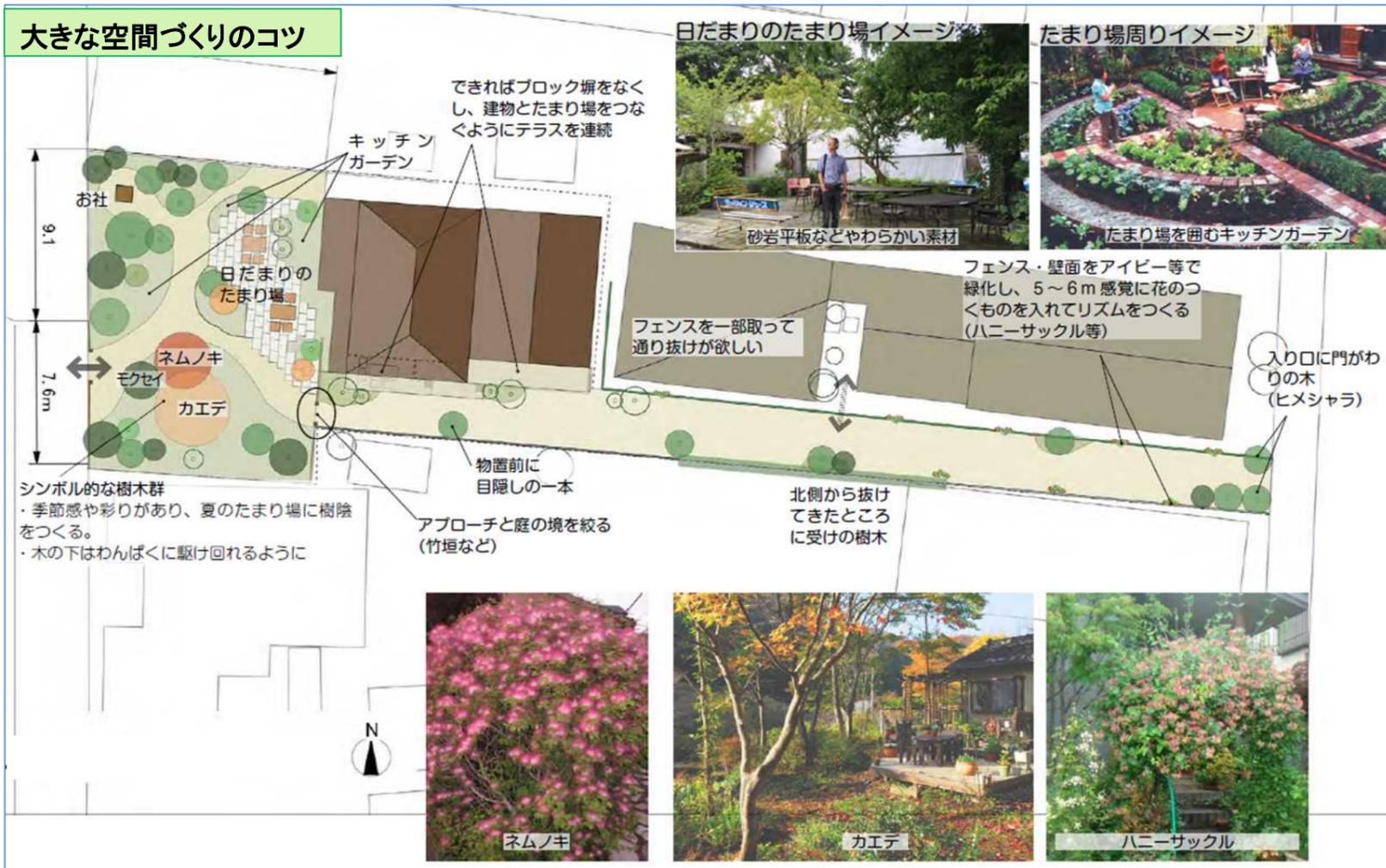
今回は、庭などの大きな空間と、玄関先などの小さな空間の見せ方・作り方について講義して頂きました。大きな空間づくりのコツとして、シンボルツリーにはどのような木を選んだら良いか、単調な庭にならないよう動線を考えてみどりを配置するなど、参考事例をもとに教えて頂きました。また、小さな空間づくりでは、水やりの手間を省くため「底面灌水」を利用したミニ寄せ植え講座を行いました。玄関先などのわずかな空間でも花やみどりを置くことでおもてなしの効果があります。「これなら家にある材料で簡単に出来ますね。」と参加された皆さんも感心されていました。また、市道1135号線と県道の交差点付近の花壇の整備について、皆さんからも意見を頂きました。



第2回に参加された皆さん!



植物に必要な5つのものは水・光・肥料・空気・温度です!



底面灌水の作り方

作業の手順

ホームセンターでこれだけ準備しよう!

材料
花苗用トレイ、小苗用トレイ、ビニールシート、鉢底ネット、吸水スポンジ、針金、防水テープ、園芸用土

- 花苗用のトレイの内側全体にビニールシートを敷き、上部を防水テープでとめる。中に小苗用のトレイを1cmほど高く据え、水を満たします。
- 吸水スポンジを幅1.5cmほどに切り、二重に折り返します。鉢底ネットに穴をあけ、スポンジを通し、上から2cmほどの位置に抜け落ち防止の針金を通したら、下へ垂らしておきます。
- ポットから土ごと苗を抜き、底土を少し崩し、その分鉢底に新しい土をスポンジを覆うように入れて、その上に苗を戻します。
- トレイに水を満たし、内側トレイの上に苗の鉢を置き、スポンジをトレイの底まで垂らし吸水させます。

【お問い合わせはこちらまで】熊谷市 都市整備部 都市計画課
〒360-0195 埼玉県熊谷市中曾根654番地1(大里庁舎)
TEL:0493-39-4813 E-mail:toshikeikaku@city.kumagaya.lg.jp